



当日のタチウオ仕掛け

Tackle Guide

テンピン釣りの場合、専用竿もあるが80号のオモリを使う場合はオモリ負荷100号まで背負えるライトゲーム竿でも対応できる。リールは手巻きの両軸でもいいが、これからの時期は深場を狙うこともあるので超小型電動がおすすめだ。



▲大型を狙うならテンヤ釣りのほうが有利だ

60メートル。ここで船長に最近のタチウオの釣り方や注意点について



▲秋が深まり東京湾でも大型タチウオがよく交じるようになってきた

10月中旬、次号の打ち合わせの際に加藤編集長から、「お前もそろそろ単独で取材に行ってもらおうか」という話があった。入社してから半年間はだれかの取材に同行して撮影したり船長やお客さんと話したりして色いろ学んできたが、今回ついに単独取材の許可が降りたのだ。

単独取材初出船へいざ！

5時半に宿へ到着するとシヨートタチウオ船の舵を握る野地吉友船長が受付を担当していた。

そびれなどなく、一つの記事にまともな上げるプレッシャーは半端ではない。これまでの勉強の成果を存分に発揮すべく10月17日、三浦半島京急大津のいな丸へと向かった。

あいさつを済ませ、国道16号へ一度出てから

大津漁港西側交差点を右折しドック

キホーテ脇の道を通って駐車場へと移動する。

撮影機材と釣具を持って船へと乗り込むとすでに4人が準備して待っていた。

平日だからそれほど多くないのかなあと心配していると続々と乗船予定の方が集まり、最終的に11人が乗り込んだ。

ごあいさつと取材の旨を伝えつつ話を聞くとテンヤ

釣りの方が多いようで、11人中9人がテンヤ釣りのこと。入社してからタチウオの取材はこれで4回目となるが、改めてテンヤ釣りの人気の高さが分かる。

いな丸ではトラブルやオマツリ防止のため、船の後方にテンヤ釣り、前方にテンビン釣りのお客さんをそれぞれ分けて釣座が指定される。

午前7時15分になり出船。まずは猿島沖の61メートルダチから攻めていく。

「どうぞ。海面から50〜58メートルを探ってみてください」と船長から釣り開始のアナウンス。

出船前は小雨が降っていたが、釣りを開始するときには雨も止んでいた。きつとこれはいい予兆なのだろうと思っ

ていると、右舷トモでこの日最初のタチウオがヒットした。手巻きでゆっくりと巻き上

# 東京湾タチウオ好調継続 良型主体で釣り味も良好！

三浦半島京急大津発 ↓ 猿島へ走水沖

本誌編集部 / 黒澤尚人 Naoto Kurosawa

釣座が指定される。午前7時15分になり出船。まずは猿島沖の61メートルダチから攻めていく。「どうぞ。海面から50〜58メートルを探ってみてください」と船長から釣り開始のアナウンス。

出船前は小雨が降っていたが、釣りを開始するときには雨も止んでいた。きつとこれはいい予兆なのだろうと思っ

ていると、右舷トモでこの日最初のタチウオがヒットした。手巻きでゆっくりと巻き上

げ、やがて海面に見えたのはメーターオーバーは余裕でありそうなタチウオで、無事に取り込みも成功。

釣り上げた大藤恭介さんに食ったタチウオなどを聞くと、

「指示ダナの範囲をゆっくり探っていたのですが、タナの上限まできたのでフールさせて58メートルまで落としましたらすぐに食ってました」とのこと。

ひとまず最初のタチウオの写真を撮り終えてひと安心していると、このタチウオが呼び水となったのかあちこちで竿が曲がり始めた。

「ヤバイ！ 今だけ自分の体が3つほしい!!」と思いがらでできる限り撮影して回っていく。

とヒットしたが、巻き上げ中に痛恨のバラシ。おおよその流れは分かったので同じように誘うと53メートル付近で再びアタリ。タタいてから聞き合わせるとハリ掛かりした。

無事に取り込みも成功。80センチ級とこの日には小ぶりだが、これまでの取材で皆さんに色いろ教えていたことがこの日の状況にうまくフィットできたのが何よりうれしかった。

少し間が空いて再びアタリがあったが今度はハリス切れアタリがきてから待ちすぎたのが原因だったようだ。

仕掛けを結び直して次の一投。今度は竿がギューギューンと曲がる明らかにタチウオではないアタリが出た。

合わせてみるとそこまで強くは引かないのでサバが掛かったのかと強引に巻き上げてくると、なんとビックリ40センチはありそうな丸まると肥えたアジだった。

うれしいゲストの登場にこそいそと血抜きをしていると右舷が何やら騒がしい。行ってみると右舷トモ2番の齋藤富之さんがこの日最大となる133センチのタチウオを取り込んだばかりだった。

## 最後に大型がヒット

この時点でほとんど撮影は終了していたので残り2時間ほどだが私も左舷ミヨシで竿を出してみることになった。テンビン仕掛けで、このときの指示ダナである50〜60メートルのタナを探っていく。竿をシャクって下げるときにリールのハンドルを3分の1回転させ、再びシャクる。シャクったときに食わせの間を与えるため5秒ほど待ち、竿を下げてハンドルを回す動作を繰り返しながら誘っていきくと1投目からガツガツとアタリ！ なかなか食い込まないので、焦らせるために竿をタタいてから聞き合わせる

とヒットしたが、巻き上げ中に痛恨のバラシ。おおよその流れは分かったので同じように誘うと53メートル付近で再びアタリ。タタいてから聞き合わせるとハリ掛かりした。

無事に取り込みも成功。80センチ級とこの日には小ぶりだが、これまでの取材で皆さんに色いろ教えていたことがこの日の状況にうまくフィットできたのが何よりうれしかった。

少し間が空いて再びアタリがあったが今度はハリス切れアタリがきてから待ちすぎたのが原因だったようだ。

仕掛けを結び直して次の一投。今度は竿がギューギューンと曲がる明らかにタチウオではないアタリが出た。

合わせてみるとそこまで強くは引かないのでサバが掛かったのかと強引に巻き上げてくると、なんとビックリ40センチはありそうな丸まると肥えたアジだった。

うれしいゲストの登場にこそいそと血抜きをしていると右舷が何やら騒がしい。行ってみると右舷トモ2番の齋藤富之さんがこの日最大となる133センチのタチウオを取り込んだばかりだった。



▲テンヤ釣りの場合イワシに少しでもキズが入ったらどんどん替えよう

### 知得! タチウオの脳天絞め

ハサミでエラをハチンと切って絞めると不意に暴れてタチウオの歯が手に当たってしまったりすることがあるが、仲乗りの和田頼宏さんはフィッシュビックを使って脳天絞めしてから血抜きをするとおしく持ち帰れるうえケガのリスクがないと教えてくれた。

頭頂部の白い点が脳天にあたり、そこにフィッシュビックを突き刺すと一瞬で動きが止まる。簡単なのでぜひ試してほしい。

▶絞め方自体は非常に簡単

### 船宿information

三浦半島京急大津

## いな丸

☎046-841-9191 (詳細は巻末の情報欄参照)

▶料金=ショートタチウオ乗合一人8000円 (テンピンはエサ、氷付き、テンヤは氷のみ)

▶備考=予約乗合、7時15分出船。テンヤ用イワシは10匹入り500円 (店頭販売のみ) 午前タチウオ、午後、午後アジ、一つテンヤ&タイラハも

野地 吉友船長